

事例 4 小グループでの学びから得たものを生かして、全体に発表をすることをねらった事例

- 学年 第6学年
- 主な領域 「話すこと[発表]」
- 事例のポイント
 - ①「発表」に向けて、児童が学習の見通しをもてるような指導計画の作成を工夫する。
 - ②発表を通してコミュニケーションの楽しさを感じさせるために、学び合いを行う。
 - ③児童の変容を適切に見取るための評価場面を工夫する。
 - ④学びを深めるために、他教科（6年社会科）と関連付けた指導を行う。
 - ⑤効果的な学び合いを行うために、ICT端末を活用する。

1 単元名 ONE WORLD Smiles 6 Lesson 5 What country do you want to visit?
行きたい国

2 単元について 省略

3 児童の実態について 省略

4 単元の目標

海外旅行の計画をしている担任に、おすすめの旅行先を紹介することができる。

- ・訪れたい国やその国でできることの表し方を知って、聞いたり言ったりすることができる。
〈知識及び技能〉
- ・教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、訪れたい国やその国のよさを紹介する。
〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、訪れたい国やその国のよさを紹介しようとする。
〈学びに向かう力、人間性等〉

5 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」及び「書くこと」「読むこと」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」 (や)	〈知識〉 ①国名や I want to visit (see)..., What country do you want to visit?の表現について理解している。 〈技能〉 ②訪れたい国やそこで何ができるかについて伝え合う技能を身に付けている。	①教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、訪れたい国やその国のよさについて伝え合っている。	①教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、訪れたい国やそのよさについて伝え合おうとしている。

話すこと 「発表」 発	〈知識〉 ① 国名や I want to visit(see)..., You can... の表現について理解している。 〈技能〉 ② 訪れたい国やそこの良さについて話す技能を身に付けている。	① 教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、訪れたい国やその国のよさを話している。	① 教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、訪れたい国やその国のよさを話そうとしている。
-------------------	--	---	--

6 単元計画

時	◆目標・○活動	評価			
		知・技	思・判・表	態	
1	◆世界の様々な国について知ることができる。 ○Small Talk 話題:行きたい国の紹介 ○Let's Watch ○Let's Think 1 ○Let's Chant What country do you want to visit?				◎評価規準〈評価方法〉 ※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 事例ポイント① 単元のゴールを明示する。毎時、本時のめあてとともに単元のゴールも板書することで、児童が常に学習の見通しをもてるようにする。 </div>					
2	◆国名を聞いたり言ったりすることができる。 ○Small Talk 教師が行きたい国の紹介 ○【Activity】 ポインティングゲーム ○Let's Listen 1 ○Let's Think 2 ○Let's Chant What country do you want to visit?				※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。
3	◆行きたい国やそこでできることの言い方を知り、内容を聞き取ることができる。 ○Small Talk 国当てクイズ ○Let's Chant What country do you want to visit? ○【Activity】 カルタゲーム ○Let's Listen 2 ○Let's Read and Write				※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 事例ポイント④ 知っている国や興味のある国をクイズ形式して扱うことで、題材に関心をもたせる。 </div>					
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 編 P149 指導計画作成の留意事項(3) </div>					

4	<p>◆訪れたい国やその国のよさについて、尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Small Talk ALT との会話による行きたい国と理由の紹介。</p> <p>○Let's Chant What country do you want to visit?</p> <p>○Let's Listen 3</p> <p>○Activity 行きたい国について尋ね合う。</p> <p>○Let's Read and Write</p>	<p>や</p> <p>①</p> <p>②</p>			<p>◎国名や I want to visit (see)..., What country do you want to visit? の表現について理解している。</p> <p>◎訪れたい国やそこで何ができるかについて伝え合う技能を身に付けている。〈行動観察〉</p>
5	<p>旅行案内を作るために、相手に伝わるように工夫しながら、訪れたい国やその国のよさを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。</p> <p>○Small Talk 担任が作成した旅行案内の紹介①</p> <p>○Let's Chant What country do you want to visit?</p> <p>○【旅行案内の作成】 作成したワークシートを使って、ペアで伝え合う。</p>	<p>や</p> <p>①</p>	<p>や</p> <p>①</p>		<p>事例ポイント① 教師が作成した旅行案内を第5時、第6時、第7時と聞かせることで、発表のイメージをもたせる。</p> <p>◎教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、訪れたい国やその国の良さについて伝え合っている。〈行動観察〉</p> <p>◎教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、訪れたい国やその良さについて伝え合おうとしている。〈行動観察〉</p>
6	<p>◆相手によりよくわかってもらうために、訪れたい国やその国のよさなどについて、自分の考えや気持ちも含めて話すことができる。</p> <p>○Small Talk ALT が作成した旅行案内の紹介②</p> <p>○Activity 行きたい国とその国のよさについて、小グループで発表する。</p>	<p>発</p> <p>①</p>	<p>発</p> <p>①</p>		<p>◎教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、訪れたい国やその国のよさを紹介している。〈行動観察・録画〉</p> <p>◎教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、訪れたい国やその国のよさを紹介しようとしている。〈行動観察・録画・振り返りカード〉</p> <p>※思考・判断・表現と主体的に学習に取り組む態度の評価は、第7時の評価と併せて行う。</p>
7	<p>◆相手によりよくわかってもらうために、訪れたい国やその国のよさについて、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちも含めて話すことができる。</p>				

<p>○Small Talk 他の教師が作成した旅行案内の紹介③</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>○Activity 行きたい国とその国のよさを全体で発表する。</p>	<p>発</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p>発</p> <p>①</p>	<p>発</p> <p>①</p>	<p>◎国名や I want to visit(see)..., You can... の表現について理解している。〈行動観察・録画〉</p> <p>◎訪れたい国やその良さについて話す技能を身に付けている。〈行動観察・録画〉</p> <p>◎教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、訪れたい国やその国のよさを話している。〈行動観察・録画〉</p> <p>◎教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、訪れたい国やその国のよさを話そうとしている。〈行動観察・録画・振り返りカード〉</p> <p>※思考・判断・表現と主体的に学習に取り組む態度の評価は、第6時の評価と併せて行う。</p>
<p>事例ポイント① 前時の小グループでの発表、本時の全体発表と段階を踏むことで、児童の負担感を減らすとともに、児童が慣れ親しんだ状態で全体に発表することができるようにする。</p> <p>事例ポイント④ 第6時で録画した互いの発表動画を見させ、全体の前での発表に生かせるようペアで学び合いをさせる。</p>				
<p>8 ◆友達が作成した訪れたい国やその国のよさなどについての旅行案内を読んで、内容を読み取ることができる。</p> <p>○Let's Chant What country do you want to visit?</p> <p>○Sounds and Letters 発音と文字の関係</p> <p>○Activity 友達の旅行案内のワークシートを読み合う。</p>				


7 本時の展開

目標 相手によりよくわかってもらうために、訪れたい国やその国のよさなどについて、自分の考えや気持ちも含めて話すことができる。

準備 デジタル教材・・・**デ教**、絵カード・・・**絵カ**、ICT端末・・・**ICT**
ワークシート・・・**WS**、振り返りカード・・・**振カ**

○本時の展開（6／8）

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
2分	<p>○英語であいさつする。</p> <p>HRT: Hello, everyone. S: Hello, ○○先生. ALT: How are you? S: I'm ~. ALT: What day is it today? What date is it today? How is the weather? S: It's ~.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語にふさわしい、明るい雰囲気を作る。 ・全体に挨拶をし、個別に ALT と分担をして挨拶をする。 ・既習表現を使った質問をする。 	

4分	<p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の行きたい国の紹介を聞いた り、質問に答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を示し、児童が興味をもって聞 けるようにする。 ・ALT や児童に質問しながら、Small Talk をし、児童も参加できるように する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">デ教</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">絵カ</div>
<p>Small Talk 行きたい国の紹介</p> <p>T:Hello. I want to talk about France. In France, you can see the Eiffel tower. (テレビに写真を映して) It's beautiful. Also, you can eat French bread. Do you like French bread? S:Yes,I do. T:It's delicious Let's visit France.</p>			
<p>事例ポイント① 教師が作成した旅行案内を第5時、第6時、第7時と聞かせるこ とで、発表のイメージをもたせる。</p>			
○本時のめあてを知る。			
<p>Lesson Goal 海外旅行の計画をしている先生に、おすすめの旅行先を紹介しよう！</p>			
<p>Today's goal 友だちにおすすめの国の紹介をするガイドになろう！</p>			
<p>事例ポイント① 毎時間、本時のめあてとともに単元のゴ ールも板書することで、児童が学習の見 通しをもてるようにする。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・児童が1時間の見通しがもてるよう にする。 ・誰に紹介するのか確認し、相手意識 をもたせる。 			
5分	<p>○Activity 1</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・前時のペアワークでの映像をペアで 見る。 ・発表のポイントを手がかりに、友達 の発表のよいところを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表のポイントを確認する。 <ol style="list-style-type: none"> ①Clear voice ②Eye contact ③Gesture <p>発表のポイントから、友だちのよい ところを見つけ伝えさせるようにす る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">ICT</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">WS</div>
<p>事例ポイント⑤ 前時にペアで互いの発表を録画した動画 を視聴し、よいところを伝え合うことでより よい発表になるような機会をつくる。</p>			

10分	<p>○Activity 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人で1グループを作り、グループ内で発表し合う。 ・互いの発表を見て、発表のポイントを手がかりに、よいところやさらによくになりそうなところを考え、伝え合う。 ・聞き手の児童は質問をしたり、リアクションをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの発表のよいところを伝え合うことで、温かい雰囲気作りができるようにする。 ・WSに書いてあることだけでなく、相手によく伝わるようにするには、どんな工夫ができそうか小グループで考えさせる。 ・ここまでに教師の旅行案内の中で参考になる表現やジェスチャーを数回聞かせてきているので、ここではあえてそれを明示せず考えさせる。 ・児童の伝えたい、言いたい気持ちを大切にす。 	ICT WS
<p>事例ポイント② 小グループ内で発表をし合う。互いの発表を見て、さらによくになりそうなところを伝え合う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・よい発表をしている児童を指名し、全体の前で発表させる。 ・中間指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ①おすすめの国を紹介する方法や内容について代表で発表した児童のよいところを基に考えさせる。 ②未習の表現を言いたい児童に対しては全体で取り上げる。 ③児童から挙げた疑問や課題をどうしたらいいか考えさせたり、助言したりする。 ・活動が滞っている場合は、ポイントを再確認してから再開する。 ・言いにくそうにしている児童には、支援し、勇気づける。 	
18分	<p>○Activity 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループで発表する順番を決め、1人ずつ他のグループを回り、発表する。1人目の発表が終わったら、2人目、3人目…と同じように行う。 ・聞き手の児童はリアクションをしたり、質問をしたりする。 <p>編P149 指導計画作成の留意事項(6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動の様子を見取り、称賛したり助言したりする。 	ICT WS
<p>事例ポイント③ 小グループを回り、相手を変えながら複数回発表をさせることで、児童の変容を見取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスを4人組、6つの班に分ける。 ・1～3班をAグループ、4～6班をBグループとする。 ・Aグループの児童はAグループの班を、Bグループの児童はBグループの班を回り、発表させる。 ・自分のグループは最後に発表させる。 ・各班にICT端末を設置し、発表の様子を録画して評価の資料の1つとする。 		<p>事例ポイント② 聞き手にはリアクションを意識させ質問をするなど、やり取りの要素を加えることで、コミュニケーションの楽しさを感じることができるようになる。</p>	

発表者:Hello.

S: Hello.

発: I want to talk about Italy. In Italy, you can eat Italian gnocchi. It's very delicious. (WSを見せながら) Do you know Italian gnocchi?

S: No, I don't. What's Italian gnocchi?

発: A kind of pasta.

S: I see!

発: It's very delicious.

S: Nice.

発: You can see the leaning tower of Pisa. It's leaning. (WSを見せながら)

S: It's interesting.

発: Let's visit Italy. Thank you.

S: Thank you, too



◎教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、訪れたい国やその国のよさを話している。【思・判・表】**発**①
〈行動観察・録画〉

◎教師や友達におすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、訪れたい国やその国のよさを話そうとしている。【態】**発**①
〈行動観察・録画・振り返りカード〉

【思考・判断・表現】の評価基準

- A: おすすめの旅行先を紹介するために、教師や友達によりよく伝わるよう世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内や既習語句、表現を用いて、紹介したい国のよさを伝えたり、感想を述べたりしている。
- B: おすすめの旅行先を紹介するために、教師や友達に伝わるよう世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内や既習語句、表現を用いて、紹介したい国のよさを伝えている。
- C: : おすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、教師や友達の助けのもとで既習語句や表現を用いて、紹介したい国のよさを伝えている。

【主体的に学習に取り組む態度】の評価基準

- A: おすすめの旅行先を紹介するために、教師や友達によりよく伝わるよう世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内や既習語句、表現を用いて、紹介したい国のよさを伝えたり、感想を述べたりしようとしている。
- B: : おすすめの旅行先を紹介するために、教師や友達に伝わるよう世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内や既習語句、表現を用いて、紹介したい国のよさを伝えようとしている。
- C: おすすめの旅行先を紹介するために、世界の様々な国について理解を深め作成した旅行案内を使って、教師や友達の助けのもとで既習語句や表現を用いて、紹介したい国のよさを伝えようとしている。

3分	<input type="radio"/> 指名された児童が全体の前で発表する。 <input type="radio"/> 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> 指名された児童の発表から、よかったところを全体で共有する。 本時のねらいに照らしてまとめをする。 	
3分	<input type="radio"/> 本時の学習の振り返りをする。振り返りカードに記入する。 <input type="radio"/> 挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして、児童が分かったこと、考えたことや感じ方を振り返るようにし、向上したことや学び方のよさを確認、実感できるように称賛する。 教師の方をしっかりと見て元気に挨拶できるように意識させる。 	振力

HRT : That's all for today's English lesson.
S : Thank you, ○○先生.
ALT : Thank you, too. See you next time.
S : See you.

外国語振り返りシート Lesson 5

What country do you want to visit? 行きたい国
6年 組 _____

Lesson ⑤ 単元のゴール : 旅行ガイドを作って一番のガイドになろう

月日	1	2	3	4	今日の感想
10/5	◎	◎			国名は日本と外国でしているのもあれば似てないものもあつたのでわかりなかつた
10/8	◎	◎			国名(文字)を見れば少し言い方がちがうことにも気づけることがわかった
10/9	◎	◎			国名がすらすら言えるようになったので発表に迷わなくなった
10/15	◎	◎		◎	what を聞かれ、答え方もわかったので、発表でもがんばりたい
10/17	◎	◎	◎	◎	発表の前準備は練習だけになったので、会話のイメージなどを見て準備できた
10/22	◎	◎	◎	◎	発表することによって、楽しさが変わってきたことに気づけたさまざまな工夫があることに気づけたので、次から活用したいです
10/29	◎	◎	◎	◎	発表する前はきこえたけど、発表のときは自分の思い通りに言いたいことが言えてよかったです

《自己評価の仕方》 ◎…とてもがんばった ○…がんばった △…次回がんばる

- さまざまな国名を、聞いたり言ったりすることができた。
- 行きたい国やその国でできることの表し方を知って、聞いたり言ったりすることができた。
- 旅行案内をつくって、行きたい国のよさをしょうがいすることができた。
- 行きたい国のよさをわかりやすく伝えようとした。

※第8時の振り返りは、教科書に記入。